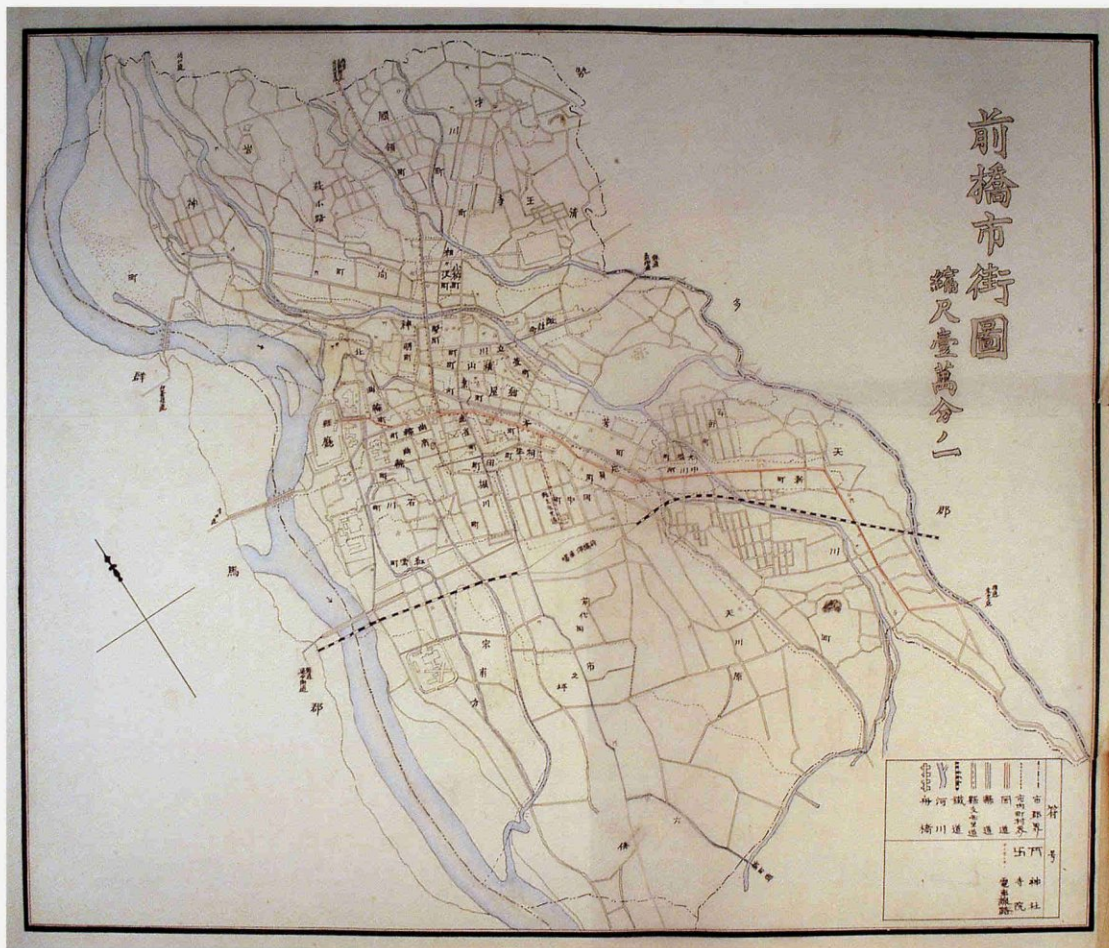


# 明治末期の前橋

## 前橋市街圖

縮尺壹萬分の一



この史料は、前橋市街の交通網を中心に記載した地図（縦42cm×横50cm）です。

明治44年（1911）に内務省から道路に関する照会が出され、その報告として県内の大きい町の道路を詳しく記した地図が製作されました。

道路は細かく記され、当時の街路の様子がよくわかります。利根川には、2ヶ所（現在の大渡橋の位置と県庁の南）に橋がかかっていますが、これは、舟を並べた上に板をわたして橋にした船橋です。道路のうち、国道は赤、県道は青で表されています。

前橋・渋川間には、馬車鉄道が明治23年（1890）営業を開始し、同42年（1909）電化し、電気軌道となりました。この地区には電気軌道の路線も記されています。前橋駅から北へ延びた線路が国道（現在の国道50号線）を通過して、西に向かい、県道（現在の国道17号線）を通過して渋川方面に向かっている様子が赤い点線で表されています。地名は当時の町名で記されています。